



在京経済人懇談会は、昭和五十七年に大館商工会議所が主体となつて、大館及び周辺町村出身の在京経済人と親ぼくを兼ねながら情報の交換をしたのが始まりです。昨年の第六回目からは、大館市の活性化、特に企業誘致のための情報の提供、収集を主たる目的とし、主催も大館市企業誘致促進協議会に切り替えて開催しています。

場合も、転作の対象となります。さらに、山村振興地域(長木・上川沿・十二所・矢立)においては、自己保全管理でも転作の対象となりました。このため、市では前期対策で転作の対象としていなかった保全管理を、その他の地域において、農協への水田預託による場合のみ対象とすることになりました。

後期対策における転作目標面積は、九百八十一ヘクタールで、配分は、水田耕作面積二十アール以上の農家に対し、一律二四・八%とします。

また、他用途利用米については、転作目標面積に一律一九%で配分します。

在京経済人懇談会

通算七回目を迎えた今年の懇談会は、去る二月二十八日に東京都港区の虎ノ門パストラルで開催しました。促進協議会側十六人、在京経済人約三十人が集まり、企業誘致を含む大館市の発展策について活発な意見が交わされました。また今回は、企業進出の打診があったり、これまでになく大館市の活性化を願つた、具体的な提言・助言が数多く寄せられたりしました。

今後は、これら寄せられた提言・助言を施策に反映できるよう最大限の努力を払い、市政の発展に十分に生かしていきたいと考えています。

アメッコ市

冬の風物詩アメッコ市は、例年のとおり二月十一日、十二日の二日間開催されました。

両日ともあいにくの天候でしたが、曲ワッパ太鼓を中止した以外は、いずれのイベントも予定どおり行われました。観光客は悪天候の影響もあり、昨年より五万人ほど下回りましたが、それでも二日間で十八万人を記録しました。

今回のアメッコ市開催にあたっては、昨年の十一月からポスターやチラシでの宣伝、県内はもちろん青森、岩手両県や首都圏への宣伝キャラバン隊の派遣、さらには、秋田、青森、岩手三県の民放テレビにコマージュを流すなど、誘客宣伝活動を展開しました。また、イベントの内容についても見るものから参加できるものに視点を置き換え、広く誘客に努めた結果、県外からの観光客は例年以上でした。

全国ではじめて開催された第一回全国細工館大会は、特別参加を含め全国各地から百三十三の応募があり、開催期間を通じて



一万二百五十四人の観賞客でにぎわいました。

今後も協力いただいた皆さんからの意見を聞きながら、イベントなどの内容を十分検討し、誘客の促進に一層努力していきたいと思ひます。

大館八幡神社の 国重要文化財指定

去る二月二十三日、国の文化財保護審議会が建造物関係十件の重要文化財の指定について文部大臣に答申しました。その中に、当市の八幡神社の正八幡宮本殿と若宮八幡宮本殿の二棟(県指定文化財)が含まれていることが、県教育委員会からの連絡で分かりました。正式には官報の告示をもって指定されることになるわけですが、建造物の国指定としては、当市の第一号となるものであり、市民の誇りとして喜びにたえないところです。

正八幡宮本殿と若宮八幡宮本殿は、貞享四年(一六八七)に四代大館城代佐竹義武公が建立したもので、各部に極彩色が施された豪華な造りとなっています。二棟が軒をそろえて並び、配置に大きな特徴があり、建築の質もよく、江戸時代初期の秋田藩を代表する貴重な神社建築として、指定にあたって高く評価されたものです。



この創建にあたった先人をはじめ、今日まで保存に努めてきた関係者に敬意と感謝の意を表したいと思います。今後とも大館市の歴史を語る貴重な財産として、その保存、活用には行政としても積極的に協力していきたいと思ひます。

その他の報告

- ▽ふるさと探訪並木名園名木保存事業について
- ▽地方・家庭裁判所の統廃合問題について
- ▽公共事業の発注及び進捗状況について
- ▽市立総合病院の放射性医薬品の請求について
- ▽市立総合病院の検査科からの出火について